

日本台湾学会
第 15 回学術大会プログラム

2013 年 5 月 25 日（土）・26 日（日）、於広島大学

共催：公益財団法人交流協会

第 1 日 5 月 25 日（土）

- 受付開始：13:15（場所：総合科学部K棟玄関ラウンジ）
- シンポジウム：13:45-17:15（会場：総合科学部 K211 教室）
タイトル「東アジアの近代を読み直す～植民地、越境、冷戦～」
- 会員総会：17:25-18:10（会場：総合科学部 K211）
- 懇親会：18:30-20:30（会場：広島大学キャンパス内「マーメイドカフェ」）

第 2 日 5 月 26 日（日）

- 受付開始：8:30（場所：総合科学部K棟玄関ラウンジ）
- 分科会 I：9:00-10:50
- 分科会 II：11:00-12:50

分科会	企画					自由論題				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
領域	歴史学 (開催校企画)	社会文化人類学	歴史学	文学	政治学	歴史学	歴史学	文学	経済・経営	言語学
I	K208	K206	K207	—	—	K310	—	K309	K308	—
II	—	K206	K207	K208	K308	—	K310	—	—	K309

※K〇〇〇は会場となる教室番号です。

使用言語：原則として日本語を使用

***** 《シンポジウム》 *****

シンポジウム「東アジアの近代を読み直す～植民地、越境、冷戦～」【25 日】[K211 教室]

- ◎基調報告：西成彦（立命館大学）「脱植民地化の文学と言語戦争」
- ◎サブ報告：我部聖（沖縄大学）・崔真碩（広島大学）・三木直大（広島大学）

- ◎コメンテーター：柯慶明（台湾大学）・米谷匡史（東京外国語大学）・水羽信男（広島大学）
- ◎全体討議
- ◎司 会：川口隆行（広島大学）

***** 《分科会》 *****

◇第1分科会（歴史学・開催校企画）【26日Ⅰ】[K208教室]

「台湾現代史からの「冷戦」期再考」

◎企画責任者：水羽信男（広島大学）

◎座長：水羽信男（広島大学）

◎報告：

・前田直樹（広島大学）

「台湾と1950・60年代の冷戦」

・中村元哉（津田塾大学）

「20世紀前半の中国政治思想から読み解く戦後台湾の政治思想—1960年代の殷海光の活動を中心に」

◎コメンテーター：水羽信男（広島大学）

◇第2分科会（文化人類学・社会人類学）【26日Ⅰ・Ⅱ】[K206教室]

「台湾とパラオにおける植民地経験—接触領域にみる「日本」」

◎企画責任者：西村一之（日本女子大学）

◎座長：西村一之（日本女子大学）

◎報告

・飯高伸五（高知県立大学）

「旧南洋群島における日本人移住者と現地人の「ハーフ」がたどった戦後史」

・石垣直（沖縄国際大学）

「交錯する植民地経験—台湾原住民・ブヌンと「日本」との衝突・接触・邂逅」

・西村一之（日本女子大学）

「台湾東海岸における「日本」とのつながり—日本化から中華化のあいだで」

・三田牧（神戸学院大学）

「「古きよきパラオ」の語られ方にみる日本統治経験—パラオ、日本、アメリカの価値観をめぐって」

◎コメンテーター：植野弘子（東洋大学）・遠藤央（京都文教大学）

◇第3分科会（歴史学）【26日Ⅰ・Ⅱ】[K207教室]

「元台湾総督府官僚・内海忠司からみた植民地支配—戦争・台湾・帝都」

◎企画責任者：近藤正己（近畿大学）

◎座長：北村嘉恵（北海道大学）

◎報告

・近藤正己（近畿大学）

「退職植民地官僚と台湾倶楽部・台湾協会」

- ・北村嘉恵（北海道大学）
「台湾総督府東京出張所に関する史的素描—植民地統治のもうひとつの拠点」
 - ・河原林直人（名古屋学院大学）
「官」と「民」の狭間に見た戦時期台湾—内海忠司の視点」
 - ・湊照宏（大阪産業大学）
「戦時期台湾の化学企業と軍部—南日本化学工業会社と陸軍」
- ◎コメンテーター：檜山幸夫（中京大学）・やまだあつし（名古屋市立大学）

◇第4分科会（文学）【26日Ⅱ】[K208 教室]

- 「国語・母語・文学言語の擬制を超えて—呉濁流と黄靈芝の日本語作品」
- ◎企画責任者：山口守（日本大学）
- ◎座長：山口守（日本大学）
- ◎報告
- ・李郁蕙（東北大学）
「呉濁流の文学言語を考える—日本語と漢文との共存」
 - ・下岡友加（県立広島大学）
「呉濁流と黄靈芝、創作方法の比較考察」
- ◎コメンテーター：張文薫（台湾大学）・岡崎郁子（吉備国際大学）

◇第5分科会（政治学）【26日Ⅱ】[K308 教室]

- 「台湾オポジション形成史研究の視座」
- ◎企画責任者：小笠原欣幸（東京外国語大学）
- ◎座長：小笠原欣幸（東京外国語大学）
- ◎報告
- ・若林正丈（早稲田大学）
「康寧祥と『党外』の黎明——台湾オポジション第二次組党運動前夜」
 - ・岸川毅（上智大学）
「台湾省議会とオポジションの形成—初歩的考察」
- ◎コメンテーター：薛化元（政治大学）

***** 《自由論題》 *****

◇第6分科会（自由論題／歴史学）【26日Ⅰ】[K310 教室]

- ◎座長：洪郁如（一橋大学）
- ◎報告
- ・本村育恵（青山学院大学大学院博士後期課程）
「先生」たちの戦後史—台湾経験から見た教員・医師・政治家の戦後宮古社会への影響」
 - ・富永悠介（日本学術振興会特別研究員 DC 2・大阪大学文学研究科）
「琉・韓僑が経験した台湾—台湾省警務処の档案を中心に—」
- ◎コメンテーター：大浜郁子（琉球大学）・八尾祥平（早稲田大学）

◇第7分科会（自由論題／歴史学）【26日Ⅱ】[K310教室]

◎座長：松田京子（南山大学）

◎報告

・富田哲（淡江大学）

「蔡伯毅と日本統治：かれの経歴およびその語られ方」

・黄美恵（文藻外語学院）

「植民地台湾の初期地方行政—辨務署の考察を中心として」

◎コメンテーター：浅野豊美（中京大学）・栗原純（東京女子大学）

◇第8分科会（自由論題／文学）【26日Ⅰ】[K309教室]

◎座長：野間信幸（東洋大学）

◎報告

・王敬翔（愛知大学大学院中国研究科博士後期課程）

「戦争期の台湾における中国古典小説の和訳、改作の「競演」をめぐって」

・許雅筑（成功大学台湾文学研究所博士生）

「日治時期在台女性日人作家的殖民地空間書寫—以 1930 年代婦人文化演講會之女性作家群為分析對象」

◎コメンテーター：藤澤太郎（桜美林大学）・星名宏修（一橋大学）

◇第9分科会（自由論題／経済・経営・台湾産業論）【26日Ⅰ】[K308教室]

◎座長：朝元照雄（九州産業大学）

◎報告

・赤羽淳（横浜市立大学）

「袋小路に陥った台湾 TFT-LCD 企業—キャッチアップコンテキストの変化の観点から」

◎コメンテーター：田島真弓（東華大学）

◇第10分科会（自由論題／社会言語学・言語習得）【26日Ⅱ】[K309教室]

◎座長：星名宏修（一橋大学）

◎報告

・陳麗君（成功大学）

「日本における台湾人移民の言語継承をめぐって 一 日・台国際結婚を対象に一」

◎コメンテーター：和泉司（慶応大学）